# ニュースリリース

### Sapporo Concert Hall Kitara 札幌コンサートホール

# 平成 29 年 10 月開催 札幌コンサートホール主催事業について

# 第 19 代札幌コンサートホール専属オルガニストマルタン・グレゴリウス デビューリサイタル

札幌コンサートホール Kitara では、そのシンボル的存在である大ホールのパイプオルガンの魅力を、広く深く世界へ向けて発信する専属オルガニストを、ヨーロッパより 1 年間の任期で、招聘しております。このたび、第 19 代専属オルガニストとしてマルタン・グレゴリウスが着任。10月7日には、お披露目公演を開催いたします。Kitara のオルガンから紡ぎ出される新たな音色、意欲あふれる演奏にご期待ください。1 年間、皆様の温かいご声援をお願いいたします。

#### ■日時

10月7日(土) 14:00 開演(15:30 終演予定)

#### ■プログラム

J.S.バッハ: パッサカリアとフーガ ハ短調 BWV582 デュリュフレ: オルガン組曲 作品 5 より シシリエンヌ

グレゴリウス:即興による舞踏組曲 ほか

#### ■料金

全席指定(税込) 一般 1,000 円 U25 シート 500 円



©Bertrand PICHENE

#### マルタン・グレゴリウス Martin Gregorius

1991年、ポーランド生まれ。グダニスク・スタニスラフ・モニューシュコ音楽アカデミーやパリ国立高等音楽院などでオルガンを学ぶ。これまでに、ベルサイユ宮殿王室礼拝堂をはじめヨーロッパ各国でコンサートを行ったほか、さまざまなオーケストラや演奏家と共演。教育活動にも熱心に取り組んでいる。2016年、シュレーグル国際オルガン即興コンクール第1位ほかヨーロッパ各国のコンクールで優秀な成績を修めている。2017年9月、第19代札幌コンサートホール専属オルガニストに就任。

## オルガン・アウトリーチについて

#### Kitara が所有するオルガンを小学校へ運び、おでかけコンサートを行います

札幌コンサートホールでは、ホールが所有する移動可能な小型のパイプオルガン「ポジティフ・オルガン」を札幌市内小学校へ運び、アウトリーチコンサートを行っています。平成 24 年度の開始から、これまでに 1,300 人以上の児童にオルガンの音色を届けてきました。

今回は、第19代札幌コンサートホール専属オルガニストのマルタン・グレゴリウスによるオルガン演奏と、札幌出身のオルガニスト 吉村 怜子によるお話で、オルガンの魅力を紹介するプログラムです。10月は、札幌市立西岡北小学校(10月25日)、札幌市立もみじの森小学校(10月27日)の2校で開催します。

#### ■コンサート概要

出演:オルガン/マルタン・グレゴリウス

(第19代札幌コンサートホール専属オルガニスト)

お話・通訳/吉村 怜子

使用楽器:草苅オルガン工房制作 ポジティフ・オルガン

(1段鍵盤3ストップ)

内容: 45 分間のプログラム

①オルガンの演奏

②オルガンについてのお話

③オルガンと歌や楽器の合奏 など



ポジティフ・オルガン

#### 札幌市立西岡北小学校

日時:10月25日(水)13:45~14:20

場所:札幌市立西岡北小学校 視聴覚室(3階)

対象:小学校3年生 約60名(2クラス)

+教職員の皆様

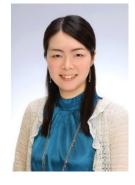
#### 札幌市立もみじの森小学校

日時:10月27日(金)13:45~14:20

場所: 札幌市立もみじの森小学校 夢広場(2階)

対象:3・4年生 約120名(4クラス)

+教職員の皆様



吉村 怜子 Satoko Yoshimura

札幌コンサートホール Kitara のオルガンスクールにて、3年間オルガンの初歩を学ぶ。東京藝術大学音楽学部器楽科(オルガン専攻)卒業、同大学院音楽研究科修士課程修了。その後、フランスのリヨン国立音楽院オルガン科卒業、同音楽院修士課程修了。オルガンを大野 敦子、小林 英之、深井 李々子、廣野 嗣雄、早島 万紀子、廣江 理枝、F.エスピナス、L.シュルンベルジェ、チェンバロを小島 芳子、大塚 直哉、通奏低音を今井 奈緒子、Y.レヒシュタイナーの各氏に師事。

取材ご希望の際は、10月23日(月)までに下記担当へご連絡ください。 ※各学校への直接のお問い合わせ、お申込はご遠慮ください。